

Health-related quality of life and its correlates in Japanese patients with myotonic dystrophy type 1

筋強直性ジストロフィー1型を持つ日本人患者における健康関連 QoL とその関連因子

目的：筋強直性ジストロフィー1型 (DM1) は、筋ジストロフィーの中では患者数の多い疾患であり、患者の生活の質 (QoL) に影響を与える可能性のあるさまざまな症状を呈する。症状をより良くコントロールするためには、患者の身体的および心理・社会的側面の両方に関する主観的な経験を明らかにすることが重要であるが、日本国内の DM1 患者の QoL について十分な理解がなされているとはいえない。

参加者と方法：DM1 患者 51 名を対象とした横断的研究を実施した。患者は、健康関連 QoL (HRQoL)、抑うつ症状および日中の眠気に関する質問紙に回答した。患者に関する基本情報とともに、日常生活動作 (ADL)、BMI および遺伝情報も収集した。これらの変数の関連を調査するために相関分析を実行した。さらに、回帰分析手法を用いて、HRQoL、抑うつ症状および日中の眠気の各スコアと他の変数との関連性について検討した。

結果：身体的健康度に関するサマリースコア (PCS) は精神的健康度に関するサマリースコア (MCS) よりも低く、DM1 の症状は患者の身体的健康により影響を及ぼしていることが理解された。PCS と抑うつ症状、PCS と ADL、抑うつ症状と日中の眠気の間には中程度の相関関係が観察された。さらに、回帰分析の結果、年齢、性別、CTG 配列反復数および BMI は、HRQoL、抑うつ症状、日中の眠気の程度を予測しなかった。

結論：DM1 の症状は、患者の精神的健康のスコアよりも身体的健康のスコアに大きく影響したが、身体の状態は、患者の気分に影響を与えるようにも見えた。また、生物学的および遺伝的特性のみでは患者の QoL を説明できないことがわかった。ケア水準向上のためには、日常生活における患者の心理・社会的側面の特徴と、DM1 と生きる上で患者が行っている心身の調整がどのようなものであるかに関してさらなる検討が必要である。

掲載誌 (オープンアクセスでどなたでも読めます)

Neuropsychiatric Disease and Treatment. 2019 Jan 14;15:219-226. doi: 10.2147/NDT.S187607.